

地域景観の蘇生は色彩から

今、全国に広がる新たな「まちづくり」の潮流は、市民の暮らしや生活動線に変化を与えはじめています。まち全体の景観やイメージをトータルで考えるデザインでは、地域の景観づくりの背景にある自然、地理、文化、歴史、など、さまざまな要因を分析してモノやヒトの関係づくりを推進するために、環境色彩の研究は大変有効です。

私たちの環境色彩研究活動は地域に活力を与えて、市場の活性化へ向けての「まちづくり」の一つのあり方だと考えます。

景観法の施行により、景観色彩の重要性が評価され始めました。色彩は少しの学習で誰でも手がけられる面白さがあり、市民活動の中で展開できます。景観色彩形成の環を示します。

